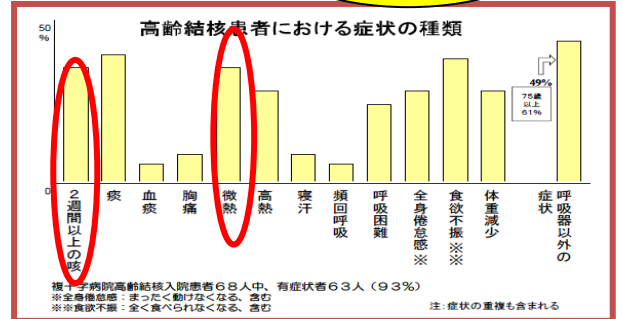
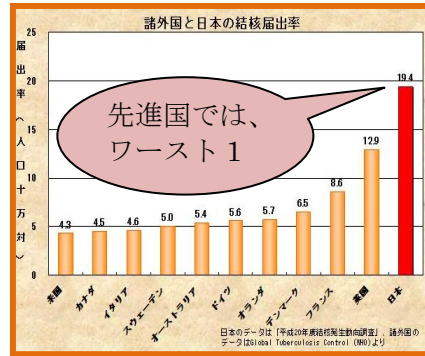


決して少なくない結核患者

咳と微熱には
注意が必要！

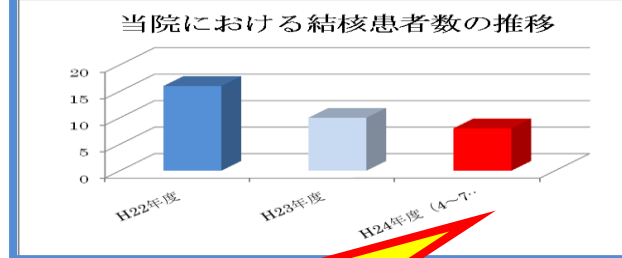


2011 結核予防会結核研究所

日本では、結核は未だ新規結核患者数が年間 24,000 人以上発症する国内最大級の感染症です。

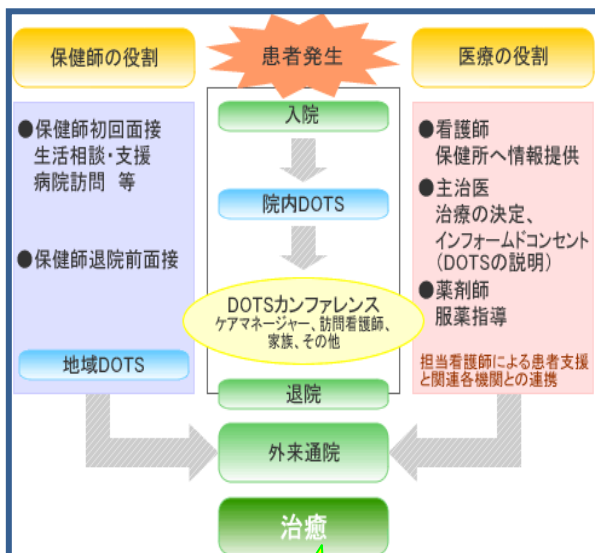
80 歳以上が発症者全体の 28.8% を占め、多くは過去に結核菌に感染した人です。免疫が低下すると、休眠していた結核菌が活動を再開して発症します。

※厚生労働省では、毎年 9 月 24 日～30 日を「結核予防週間」と定めて、結核に関する正しい知識の普及啓発を図ることをしています。



3ヶ月だけでこんなに
結核患者発生・・・

病院においても DOTS(飲み込むまでの内服確認)が必要！！



結核の治療は、1 剤ではすぐに耐性となるため、3～4 種類の薬を 6～9 カ月間服用します。しかし、途中で中止すると、多剤耐性結核菌ができるので、最後まで飲み続けることが大事です。

直接服薬確認療法 (DOTS) について Directly Observed Treatment Short-course

DOTS は、WHO が推奨する治療法で患者さまが薬を飲むのを医療従事者が目の前で確認することです。

入院期間中は「院内 DOTS」、退院後はご家族や保健師・ヘルパーによる「地域 DOTS」へと移行します。

※抗結核薬内服中の患者がいる病棟のスタッフの皆様は、内服時、確実に内服できたことをご確認下さい。

これが大切！！

